

超精密加工シリーズ

5

光学素子の
超精密ポリッシング

雇用促進事業団

職業訓練研究センター

目 次

知 識 編

1. 光学素子の用途と特徴	1
(1) 用途と必要とされる材料特性、形状精度、表面粗さの概要	1
① 赤外光学系	
② 可視光学系	
③ 紫外光学系	
④ 軟X線光学系	
2. 超精密ポリシング技術	11
(1) ポリシング技術の現状と特徴	11
① 液中研磨（ボウル・フィード・ポリシング）	
② リングポリシャ	
③ EEM（Elastic Emission Machining）	
④ フロートポリシング	
(2) 加工工具	15
① 研磨ピッチ	
② ポリウレタンポリシャ	
③ 研磨ペレット	
(3) 研磨用砥粒および研磨液	18
① 砥粒	
② 研磨液	
(4) 評価技術	21
① 形状計測法	
② 表面粗さ計測法	
(5) 非球面加工技術	27
3. 球面レンズポリシングに必要な基礎知識	31
(1) 運動条件	31
① 揺動頭の移動による軌跡の変化	
② 揺動幅と面変化	
③ 主軸回転数とかんざし揺動数による加工性	
(2) 加工物寸法に対する工具条件	34
① 皿の大きさと面変化	
② 皿の上下位置による面変化	

(3) 球面精度と工具条件	34
① 凹面研磨の面精度	
② 凸面研磨の面精度	
(4) 球面精度と加工条件	36
(5) レンズ保持条件	37
① はりつけ保持	
② はめ込み保持	
(6) 評価法	39
① 球面精度測定	
② 外径・肉厚精度測定	
③ 光学偏心精度測定	

実 技 編

実技課題 曲率半径220mmのレンズ凸面のポリシング

1. 作業準備	48
2. 準備作業	49
3. レンズのはりつけ保持	50
4. 研磨工具の製作	52
5. 砂かけ	52
6. 研磨	54